

<安全・品質向上への取り組み>

- 1月 ・増田社長就任
- 2月 ・原子力規制委員会との意見交換
- 4月 ・世界原子力発電事業者協会 (WANO) へ加盟
・品質保証大会…約 2,000 名参加*
- 7月 ・安全大会…約 700 名参加*
・事業者対応方針に基づく改善活動に一区切り
- 8月 ・再処理工場 ウラン・プルトニウム混合脱硝建屋における
排気処理設備の第 1 排風機両系の停止 (10 月に原因と対策を公表)
- 通年 ・2020年4月の導入に向けた新検査制度のマニュアル整備など
※グループ会社・協力会社含む



品質保証大会



WANO へ加盟



事業者対応方針に基づく改善活動 (設備の全数把握の様子)



石渡委員による現地調査 (火山灰の堆積状況を確認)

<新規制基準への対応>

- 1月 ・原子力規制委員会 (山中委員) による再処理工場の現地視察
- 3月 ・再処理工場、高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター
MOX燃料工場の補正書を提出
・原子力規制委員会にて審査書案を議論し、追加の確認事項が示される
(出戸西方断層、火山、航空機落下、重大事故等)
- 5月 ・出戸西方断層周辺の地表地質調査開始 (7月まで)
- 10月 ・原子力規制委員会 (石渡委員) による出戸西方断層の現地調査
・出戸西方断層南方の追加調査開始 (11月まで)
- 11月 ・審査会合で最終補正書の前段となる整理資料を説明開始
- 12月 ・審査会合で出戸西方断層に関する説明終了
・審査会合で低レベル放射性廃棄物埋設センター 3号埋設施設の
増設等に関する主な論点の説明終了
(2017年5月 ウラン濃縮工場審査終了)



審査会合の様子



低レベル放射性廃棄物埋設センター



山中委員による現地視察 (雨水浸入対策状況を確認)



石渡委員による現地調査 (火山灰の堆積状況を確認)

<技術力の維持・向上>

- 4月～ ・フランス オラノ技術者による教育訓練…延べ530名参加
- 10月 ・低レベル放射性廃棄物埋設センター 防災訓練…約200名参加
- 11月 ・ウラン濃縮工場 防災訓練…約220名参加
- 12月～ ・日本原子力研究開発機構(JAEA) ガラス溶融炉モックアップ施設
への運転員の派遣…約15名参加
- 通年 ・重大事故対処訓練・要素訓練* 等 …延べ13,900名参加
※個別に機器の操作対応等を行う訓練
- [2020年以降の取り組み]
・再処理工場 防災訓練
・フランス ラ・アージュ再処理工場、メロックスMOX工場への運転員の派遣 等…約50名参加予定



フランス オラノ技術者による教育訓練



要素訓練(放水砲の操作訓練)



重大事故対処訓練 (漏えい確認訓練)



ウラン濃縮工場 防災訓練

<地域の皆さまとともに>

- 2月 ・青森県・げんねんジュニアロボットコンテスト (20回目) …約260名参加
- 4月 ・日本原燃サイクル情報センターリニューアルオープン
(11月現在 来場者3万人達成)
・新入社員農業体験研修 (1回目) …約110名参加
- 5月 ・六ヶ所村内の清掃活動 (37回目) …約300名参加*
- 6月 ・ふれあいコンサート 来場者10万人達成 (51回目)
- 8月 ・青森ねぶた祭後の清掃活動 (3回目) …約40名参加*
- 9月 ・六ヶ所エネルギーパークマラソン大会へ参加 (1回目) …約100名参加
・日本原燃杯 家庭婦人バレーボール大会 (20回目)
- 11月 ・六ヶ所村全戸訪問 (~1月)
- 通年 ・各地域イベントでのブース出展(六ヶ所産業まつり、学園祭、放射線教室等)
※グループ会社・協力会社含む



青森県・げんねんジュニアロボットコンテスト



六ヶ所村全戸訪問



青森県産りんご即売会



ふれあいコンサート

<来年の抱負>

来年は、各事業が審査から本格的な安全性向上対策工事へと軸足が現場に移ることから、工事を着実に進めるために、一人ひとりがプロフェッショナルとして業務品質を向上させ、安全最優先に事業に取り組んでまいります。また、「社員一人ひとりが広報マン」となり、「伝わる」コミュニケーションを実践し、地域の皆さまに安心していただけるようわかりやすい情報発信に努めてまいります。